

環境科学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー） （令和9年4月1日から施行）

環境科学科における目的の達成を目指し、環境保全や社会の持続的発展に貢献できる環境科学分野の専門技術者をはじめ、問題を正確に認識し課題を解決できる幅広い職業人を輩出するため、所定の単位を修得し、以下の知識、能力、素養等を身に付けた者に学士（環境科学）の学位を授与する。

1. 知識・理解

環境科学分野における環境衛生学、環境分析学、環境評価学、環境保全学等の専門知識を身に付け、体系的に理解している。

2. 専門的・汎用的技能

ICT 技能を活用しながら、理化学的、生物学的及び社会学的調査・分析を行うことで、環境の実態と人、生態系及び社会への影響を正しく評価し、環境問題を正確に捉えることができる。また、自らの思考・判断のプロセスを説明し伝達するためのプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を生かし、問題解決に役立てることができる。

3. 態度・志向性

より豊かで持続可能な社会の実現・発展に貢献するという責任感を持ち、環境の諸問題を解決するため、適切な倫理観を備え、幅広い視野をもって他者と協働しながら、主体的かつ自律的に取り組むことができる。

4. 総合的な学修経験と創造的思考力

健全な環境の保護・保全のため、環境科学科の教育課程を通じて培った技術的（自然科学）及び社会的（社会科学）な知識を総合的に生かすことで、様々な環境問題を制御・管理し、より健全な環境の創成に取り組むことができる。